



茂原市 Slow for Kids 宣言

～子どもたちの安全・安心のために～

茂原市では、車を運転中に子どもの姿を見かけたら、運転手は、速やかに減速し、子どもたちが安全に安心して通行できるように、できるだけゆっくりした速度で通り過ぎるよう心がけます。



【趣旨】

この宣言は茂原市のローカルルールとして、歩道やガードレールが整備されていない道路で子どもたちの姿を見かけたら、ドライバーの皆さんが減速してくださるよう、自主的な協力をお願いする呼びかけです。義務的なものではないことから、罰則もありません。車を運転する大人たちによって、子どもたちの安全・安心を守るという意識のもと、ご協力をお願いするものです。

子どもたちを大切に、その安全・安心を確保することは、今日の我々が最優先すべき課題の一つです。

本宣言は、努力目標として宣言するものでありますが、近隣の市町村でも取り組んでおり、この輪は交通安全の確保に大きな効果が得られるものと期待しております。

子どもたちの安全確保は、社会全体で責任を負うべきものとの趣旨から、本宣言を茂原市に掲げるものです。

【マグネットステッカー】



※ 現在、茂原市役所、本納支所でマグネットステッカーを無料配布中（数量限定）です。

回 覧



～令和7年中の交通事故～



令和7年中の千葉県内における交通事故発生件数は12,618件で令和6年より増加（前年比+31件）しましたが、死者数は122人で前年より減少（前年比-9人）しました。

茂原警察署管内においては、交通事故発生件数（333件、前年比-31件）死者数（3人、前年比-8人）とも減少しました。

茂原市内においても交通事故発生件数（229件、前年比-18件）、死者数（1人、前年比-4人）と、発生件数、死者数とも減少し、特に死者数は過去5年間で最少となりましたが、負傷者数（289人、前年比+4人）重傷者数（34人、前年比+16人）は増加しています。

〈茂原市内における交通死亡事故死者数の推移（過去5年）〉

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
3人	4人	3人	5人	1人

【令和7年中における千葉県内の死亡事故の特徴】

◇ 横断歩道横断中の死亡事故が増加

交通死亡事故で最も多かったのは「歩行者」（48人）で全体の約4割を占めています。歩行者が関係する事故は前年に比べて増加し、そのうち横断歩道横断中に亡くなった方が増加しています。

◇ 「夕暮れ時」に死亡事故が多発

16時台から19時台に死亡事故が多発しています。この時間帯は職場や学校からの帰宅時間のため、交通量が増えることに加え、日没により周囲が徐々に見えにくいため、事故が発生しやすくなっています。

◇ 車両同士の事故では「出会い頭」が最多

車両同士の死亡事故で最も多かったのは「出会い頭」でした。原因の多くは「安全確認不足」で、「止まれ」の標識で一時停止をせず進行する、左右を十分に確認せずに交差点に進入するなどして、交差する道路を進行中の車両と衝突する事故が多数発生しています。

〈連絡先〉

茂原市役所 市民部 生活課

TEL 0475-20-1505（月～金 9:00～16:30）

